

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	杉並区立こども発達センター			
○保護者評価実施期間	令和6年 9月 1日 ～ 令和6年 11月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	268	(回答者数)	105
○従業者評価実施期間	令和6年 9月 1日 ～ 令和6年 11月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数)	47
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職（保育士、心理師、言語、理学療法士、作業療法士、看護師、栄養士）が連携を図り、一人ひとりのお子さんの発達を支援している。	・グループ指導には各専門職を配置し、チームアプローチで支援している。 ・区内児童発達支援事業所を利用している区民に専門職による相談を実施している。	専門職の相談を区内児童発達支援事業所に案内し、さらに広く利用していただくために、オンラインでの申し込みに変更した。
2	区全体の障害児支援の充実を推進する役割を担い、地域支援機能の強化に取り組んでいる。	区内大学との協働により、区内児童発達支援事業所の取組みや発達支援の理解啓発を行う講座の開催や、支援者向けの研修を実施している。	自立支援協議会の子ども部会開催を予定している。
3	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を実施している。	毎月1回訓練を実施し、非常時の職員の行動が身につくよう取り組んでいる。 毎月実施している内容をお便りや掲示で保護者に周知している。	訓練に参加していない保護者に対し、避難経路の案内や広域の避難場所等の情報を周知する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会を求める声があがっている。	就労家庭の増加により、実施方法やテーマなどの保護者ニーズが多様化している。	ニーズ把握のためのアンケートの実施や参加しやすい時間帯、参加方法の検討が必要である。
2	区内支援者向けの施設公開や講座を実施しているが、一般区民対象の行事等は実施していない。	広く一般区民と利用者が一堂に会する機会の設定が難しい。	地域住民向けに事業の取り組み等を紹介する機会の検討が必要である。 療育講座の対象を拡げ、一般区民が参加できる機会を設ける。
3	業務効率やサービス向上に向けて、各種記録のICT化に向けた取り組みが必要である。	個人情報保護・管理上、長期間の保存が必要である。保存年限は設定しているが、非常に多くの個人情報の取り扱いを行っている。	サービス向上の視点から、業務削減の視点でICT化可能なものを洗い出し、段階的に改善していく必要がある。

事業所名 杉並区立こども発達センター

公表日 令和7年 4月 3日

利用児童数 令和6年 9月 1日 回収数 105/268

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	99 (94%)	4 (4%)	1 (1%)	1 (1%)	活動により、部屋が狭く感じることがある。	参加人数に合わせてプログラムや活動内容を工夫し、安全に活動できるよう引き続き配慮します。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	94 (90%)	3 (3%)	2 (1%)	6 (6%)	・専門職が体制に入っていることが分かりにくい。専門職と関わる機会があるとよい。 ・職員の関わりに偏りがあると感じる。 ・職員数が少ないため、療育回数が少ないのではないかな。	・職種がわかるような名札を着用します。保護者の方からのお話を積極的にうかがい、専門職員と関わる機会を設けます。また、必要に応じて専門相談事業をご利用いただけるよう周知に努めます。 ・指導時間外の相談も活用していただけるよう対応します。 ・職員の質向上に向け、研修を実施します。 ・希望される療育の機会を提供できるよう、引き続き杉並区として事業所増設を目指します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	87 (82%)	10 (10%)	1 (1%)	7 (7%)	集中して取り組める環境になっている。	引き続き、お子さんが理解しやすく、取り組みやすい環境を設定します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	94 (89%)	9 (9%)	1 (1%)	1 (1%)	床の汚れが気になることがある。	活動の区切りごとに室内環境を確認しながら、清潔で安全な環境づくりに努めます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	90 (85%)	8 (8%)	3 (3%)	4 (4%)	子どもに合った取り組みなのかわからない。	グループ指導の中で、取り組みの内容やねらい、目的をより丁寧に保護者の方にご説明します。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	86 (82%)	3 (3%)	1 (1%)	15 (14%)	合っていると思うが、効果があるのかわからない。	段階的に目標設定をし、取り組みのねらいや達成できた事柄を都度、保護者の方にご説明します。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	96 (91%)	5 (5%)	1 (1%)	3 (3%)	子どもの発達に合わせ、家庭等でも取り組めることも分かる内容であるとうい。	日常生活の中での具体的な関わり方や配慮について、保護者と所属園の先生方にお伝えし、総合的な支援につなげます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	89 (85%)	3 (3%)	0	13 (12%)	家族支援、移行支援についてはよくわからない。	個別支援計画説明時に、具体的に分かりやすい説明に努めます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	90 (85%)	10 (10%)	1 (1%)	4 (4%)	グループでの指導では、個人の計画内容に合っているのかよくわからない。	お子さん一人ひとりの発達段階に合わせたねらいや取り組みの様子をまとめ、半学期にお伝えします。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	88 (84%)	6 (6%)	2 (1%)	9 (9%)	季節をとらえたテーマや行事を取り入れ、親子で楽しく参加できるプログラムが組まれている。	引き続き、お子さんが理解しやすく、意欲的に取り組めるようプログラムを工夫します。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	60 (57%)	6 (6%)	18 (17%)	21 (20%)	今年に入り活動の機会があった。	親子グループの取り組みとして、児童館との連携事業を次年度も継続します。
保護 者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	98 (93%)	5 (5%)	0	2 (2%)	説明があった。	児童発達支援事業の契約時に、保護者の方へ文書と口頭で丁寧な説明を継続します。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	101 (96%)	2 (2%)	1 (1%)	1 (1%)	わかりやすく説明があった。	今後も対面やオンラインなど、保護者のご都合に合わせた方法で面談を実施します。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	80 (76%)	7 (7%)	2 (2%)	16 (15%)	オンライン講座が増えているが、対面方式で質問に答えてもらう機会もあるとうい。	保護者のニーズに合わせ、さまざまな形で情報提供ができるよう、工夫します。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	92 (87%)	9 (9%)	3 (3%)	1 (1%)	指導ごとに意見交換ができています。	個別指導やグループ担当の各専門職が連携し、お子さんの健康や発達状況の共有に努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	92 (87%)	8 (8%)	0	5 (5%)	定期的には組まれていない。	モニタリングなどの定期的な時期を含め、年3回を目安に、必要に応じた個別相談の機会を設定します。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	95 (90%)	3 (3%)	3 (3%)	4 (4%)	安心して相談できている。	保護者の方の気持ちに寄り添いながら、お子さんの発達を支援します。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	34 (32%)	12 (12%)	15 (14%)	44 (42%)	もう少し機会を増やして欲しい。	保護者の方のニーズを把握し、ご家族支援の機会が増えるよう努めます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	88 (84%)	4 (4%)	2 (2%)	18 (10%)	どこまで相談、対応がしてもらえるのか、全てを周知してくれているわけではないと思うのでわからない。	児童発達支援事業の契約時に、保護者の方への丁寧な説明を継続していきます。また、担当者からお声かけを積極的に行い、保護者の方の希望に応じられるように努めます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	97 (92%)	2 (2%)	2 (2%)	4 (4%)	配慮されていると思う。	指導時間外の面談や電話での相談のほか、オンラインでの面談も行いながら、保護者の方のニーズにお応えします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	56 (53%)	9 (9%)	2 (2%)	38 (36%)	おたよりやメールで周知されている。	評価アンケート調査の結果公表は、ホームページで発信を予定しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	95 (90%)	2 (2%)	1 (1%)	7 (7%)	どのような配慮がされているかわからない。	個人情報管理研修の実施や情報管理手順の確認を行い、安全な取扱いを徹底しています。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	75 (71%)	7 (7%)	0	23 (22%)	月2回の利用のため訓練等の実施についてはわかりかねる。	年間計画を立て、様々な緊急事態を想定した訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	52 (50%)	7 (7%)	1 (1%)	45 (42%)	訓練に参加する機会がなかったのわからない。	月1回地震や火災を想定し訓練を行っています。実施のお知らせを引き続き丁寧に行います。また、おたより等で訓練の取り組み内容の周知を行います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	80 (76%)	0	4 (4%)	21 (20%)	行われている。	日々の室内点検の実施等安全に関する計画をについて丁寧な説明を行い、安心してご利用いただけるよう努めます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	66 (63%)	5 (5%)	1 (1%)	33 (31%)	常に保護者と一緒なので連絡や説明を受けることはないが、軽い怪我をした時にスピーディーな対応を受けた。	事故発生マニュアルに沿って迅速な対応ができるよう努めます。また、ひやりはっとの共有や事故防止策の検討をタイムリーに行い、職員の危機管理意識を高めます。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	102 (97%)	2 (2%)	0	1 (1%)	楽しみに通っている。	お子さんが安心して活動に取り組めるような環境づくりや担当者との信頼関係が深まるよう努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	91 (87%)	6 (6%)	1 ()	7 (7%)	まだ小さくて本人の意思確認ができないが、楽しそうにしている。	お子さんが楽しく、意欲的にご利用いただくために、一人ひとりのお子さんの興味に合わせた取り組みを提供するよう努めます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	93 (88%)	5 (5%)	3 (3%)	4 (4%)	こどもだけでなく、親が子どもとの接し方の勉強になる。子どもの成長を感じている。	引き続き保護者の方、各専門職員と連携を図り、お子さまの発達支援に努めてまいります。

事業所名		公表日				
杉並区立こども発達センター		令和7年 4月 3 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	30 (64%)	17 (36%)	隣接施設のスペースを借用し、ニーズに対応できるように努めています。	療育の希望が特定の曜日や時間帯に集中ことがあります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	36 (77%)	11 (23%)	毎朝、活動内容ごとの職員配置を確認し、センター全体で応援体制を組んで対応しています。	指導などの直接的な支援と記録などの業務のバランスを図る工夫が必要です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	40 (85%)	7 (15%)	棚などの配置、座る位置の工夫、最低限の物だけを置くなど、集中しやすい環境となるよう配慮しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	42 (89%)	5 (11%)	活動後の片付け等、限定した場面に応援職員をやりくりすることで、清潔で活動しやすい環境づくりに配慮しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	42 (89%)	5 (11%)	部屋の利用状況に合わせて、対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	40 (85%)	7 (15%)	半期ごとの事業の振り返りの会議の中で、目標設定と振り返りを行い、具体的な改善策を検討しています。	業務削減及び効率化が進むよう、各部門ごとに業務内容の検討が必要です。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	45 (96%)	2 (4%)	モニタリングや面談の機会を通して、ニーズの把握に努め、具体的な改善内容を検討しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	39 (83%)	8 (17%)	職員の意見や提案を受け、より良い支援に結び付くよう、検討を行っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	45 (96%)	2 (4%)		定期的に外部評価を行い、より良い支援につなげます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	44 (94%)	3 (6%)	職員全体の研修状況を把握できるように、研修計画をたてて、取り組んでいます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	46 (98%)	1 (2%)		利用しているお子さんや保護者の方に分かりやすい支援プログラムを作成します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	45 (96%)	2 (4%)	面談を通して、現状やニーズを把握し、支援の内容、方向性を検討しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	43 (91%)	4 (9%)	各専門職が連携を図り、お子さんにとって最善の利益となるよう、計画の検討を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	44 (94%)	3 (6%)	成長が見られたり、新しい課題が出てきた場合は、支援の内容を見直しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	45 (96%)	2 (4%)	標準化された検査を用いています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	46 (98%)	1 (2%)	5領域の視点をふまえ、各専門職が他職種でそれぞれの専門性を発揮し、協力し合いながらチームアプローチでお子さんや保護者を支援します。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	44 (94%)	3 (6%)		各専門職の視点を活かせるように努めます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	46 (98%)	1 (2%)	お子さんの意欲や達成感が得られるように工夫しながら、経験が広がるようにプログラムを用意しています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	47 (100%)	0		計画を定期的に見直し、お子さんの状況に応じた支援を行って参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	44 (94%)	3 (6%)	安全に、適切な支援を行うために職員間で打合せを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	45 (96%)	2 (4%)	まとめの時間を持ち、対応の仕方などを確認し、共有するように取り組んでいます。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	46 (98%)	1 (2%)	日々指導終了後に振り返りまとめを行い記録しています。	日々の記録を踏まえ、次の支援や見直しに活かします。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	47 (100%)	0		年3回の面談の機会ニーズを聞き取り、計画に反映する機会を設けます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	45 (96%)	2 (4%)	有意義な情報共有や検討の場となるよう、担当者が中心に参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	46 (98%)	1 (2%)	保健センター等の関係機関と連携を図っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	45 (96%)	2 (4%)	保護者の同意を得て支援内容を書面及び訪問し話し合い理解を図っています。	所属先で、より良く過ごすことができるように、ご家庭、所属先と協力して取り組みます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	46 (98%)	1 (2%)	保護者の同意を得て支援内容を書面にて伝えています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	47 (100%)	0		児童発達支援事業所等の連絡会や研修会等を実施し、地域全体の質の向上を図ります。
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	45 (96%)	2 (4%)	講師派遣で事例検討等の研修を実施する等、地域のネットワークづくりを行っています。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	37 (79%)	10 (21%)	各部会等に出席し、地域の関係機関と連携の強化を目指しています。	地域の課題解決に向けて協議会子ども部会を設置します。
	31	(31は、事業所のみ回答)	47 (100%)	0	区内児童発達支援事業所との連絡会や研修会を通し、情報交換や情報共有を行っています。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	39 (83%)	8 (17%)	隣接する児童館との連携事業を実施し、地域とつながる機会を作っています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	45 (96%)	2 (4%)		指導場面を通して、ご家庭の様子やお子さんの発達状況を共有する機会を積極的に設けます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	46 (98%)	1 (2%)		家族支援の講座等の充実を図ります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	47 (100%)	0	児童発達支援事業の契約時に、文書により丁寧な説明を心掛けています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	46 (98%)	1 (2%)	保護者の方の状況に合わせて、対面やオンラインなどの方法で支援計画の説明を丁寧にしています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	47 (100%)	0	文書をもって説明し、同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	44 (94%)	3 (6%)	個別面談は半期ごとに実施し、その他にも必要に応じて対応しています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	37 (79%)	10 (21%)	グループ指導では保護者会を設定し、交流が図れるようにしています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	47 (100%)	0	相談は随時受け付けており、内容に応じた職種へつなげています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	40 (85%)	7 (15%)	こども発達センターの機関紙を年2回作成し、全利用者、区内関係機関に配布しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	47 (100%)	0	個人情報保護法に添って対応しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	47 (100%)	0	視覚情報などを併用する等、理解しやすい方法を取り入れています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	36 (77%)	11 (23%)	施設公開を地域の支援者に案内し、事業内容の紹介や講演会を実施しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	46 (98%)	1 (2%)	各マニュアルを作成し、全職員に保管場所を周知しています。	マニュアルを見直し、様々な緊急事態を想定した訓練を計画的に実施します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	47 (100%)	0	火事、地震、不審者対応の避難訓練を毎月実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	45 (96%)	2 (4%)	利用開始時に看護師が保護者から聴き取り、記録を共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	46 (98%)	1 (2%)	アレルゲンとなる食品を使用した活動を行わない日を全職員で確認し、使用する道具は混在しないように保管しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	46 (98%)	1 (2%)	月1回の避難訓練を実施し安全に対応できるよう、災害等に備えた取り組みを行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	45 (96%)	2 (4%)		利用開始時に契約書により丁寧に説明します。引き続き、月のお便りや掲示を通じて訓練等をお知らせします。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	46 (98%)	1 (2%)	事象ごとに迅速に共有しています。また、半期ごとに発生時間や事象の傾向を検証しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	46 (98%)	1 (2%)	全職員を対象に研修を実施し、共通理解を深めて対応しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	46 (98%)	1 (2%)	身体拘束適正化委員会で内容や時間を定期的に確認し、個別支援計画に記載しています。	丁寧な支援を行うとともに、定期的に研修を行い、安心してご利用いただけるように取り組みます。